

ひばりが丘一丁目地区社会福祉協議会

私たちは、お互いに助け合い、支え合い、手をとり合い、安心して毎日の生活を送れることがささやかな願いです。

そのような中で、ひばりが丘一丁目地区社会福祉協議会では、ふれあいと交流を大事にした行事を毎年開催しています。みな様を行事にお誘い致しますので、ふれあいと交流を楽しんで頂きたいと思います。そして、みな様からのご相談も承っていますのでよろしくお願ひ致します。

残念ながら、令和2年度は新型コロナウィルスの流行で、緊急事態宣言や外出自粛・3密回避などの生活が続きました。その関係で、令和2年度は「敬老のお祝いのプレゼント」の行事以外は中止となりました。

令和3年度は、新型コロナウィルスが終息して行事が開催され、みな様とのふれあいと交流の場を大事にしていきたいと思っています。

令和 2 年度に行つた主な行事



健康長寿の方に敬老のお祝い *

【9月20日（日）】

敬老の日のお祝いとして、自宅に在宅の80歳以上の173名の方々に《赤飯》をお届けしました。お受取り頂いたみな様から感謝のお気持ちとお礼の言葉をいただきました。社協の役員で80歳以上の4人の方にもお祝を渡して喜んでもらい、その後対象の方々へ赤飯をお届けに出発しました。
(最高齢 男性 94歳・女性 99歳)

“高齢者の見守り”

(※訪問 令和3年1月31日～2月15日)

敬老のお祝いのプレゼントをお届けした方々への訪問

訪問 173名	→	面談 162名	施設入所 3名	入院 4名
		転居 1名	死亡 3名	

- 自治会会員の方 → 104名 (夫婦世帯20組)
- 自治会未加入の方 → 58名 (夫婦世帯11組)
- 福寿会（老人会）加入の方 → 42名
- 夫婦のみ世帯（片方のみ対象の方含む） → 44組
- 一人住まいの方 → 29名
- 家族同居（夫婦以外の家族） → 56世帯

訪問して、新型コロナウィルスの流行で緊急事態宣言が出されたり、外出自粛や3密回避の中でいかがお過ごしかをお伺いしました。みな様は、日常生活を工夫して最小限に留めていらっしゃいました。出かける時はマスクをつけられています。ただ、外出して遊んだり、食事をしたり、趣味の集まりなどをしたりすることが出来ないので辛いという方が多くありました。

早い新型コロナウィルスの終息が待たれるところです。交流や集いには充分な注意を払いましょう。

“孤独・孤立”

孤独は、頼りになる人や心の通じ合える人がなく、ひとりぼっちで寂しさを感じる状態です。孤独な人は、感情を抑えることが難しく、認知症になりやすいと言われ、人とのつき合いが薄く、外出することが面倒になり、引きこもりがちになると言われます。

孤独をなくすには、人とのつながりを作る・生きがいを作る・趣味を作る・人の役に立つことを見つける・外の世界を広げることなどで、日々の生活を送ることだと言われています。

人との交流のきっかけとして、自治会・福寿会・新和会などに参加してつながりを作りましょう。

《地区社協は次の団体の活動を支援しています》

福寿会：高齢化社会になる中、会員相互の親睦をはかり、教養の向上と健康保持増進のための運動やレクレーション、地域社会との交流、社会奉仕などいろいろな活動をしています。

※クラブ活動 → ゲートボール・カラオケ・民謡・健康教室・新和会（踊り）・囲碁将棋・麻雀・グランドゴルフ

新和会：新和会の皆さんには、福祉施設等の慰問による踊りの披露や住民祭・演芸会などへの踊りの参加やチャリティ活動などを行な活躍しています。